

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年10月15日

**【四半期会計期間】** 第39期第2四半期(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

**【会社名】** 株式会社カンセキ

**【英訳名】** KANSEKI CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 長谷川 静夫

**【本店の所在の場所】** 栃木県宇都宮市西川田本町三丁目1番1号

**【電話番号】** 028 - 658 - 8123(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 管理本部長 高橋 利明

**【最寄りの連絡場所】** 栃木県宇都宮市西川田本町三丁目1番1号

**【電話番号】** 028 - 659 - 3112

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 管理本部長 高橋 利明

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第38期 第2四半期 連結累計期間		第39期 第2四半期 連結累計期間		第38期	
		自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日		
売上高	(千円)	16,062,184	15,627,463	30,633,189			
経常利益	(千円)	763,729	564,179	817,359			
四半期(当期)純利益	(千円)	328,369	328,422	624,464			
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	326,034	323,512	644,901			
純資産額	(千円)	4,323,597	4,928,966	4,642,464			
総資産額	(千円)	27,219,726	26,135,526	26,338,652			
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	22.18	22.18	42.18			
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)	15.88	18.86	17.63			
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,109,883	874,904	590,600			
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	17,902	112,389	229,719			
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	229,237	1,071,646	602,197			
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,883,319	893,762	1,202,894			

回次		第38期 第2四半期 連結会計期間		第39期 第2四半期 連結会計期間	
		自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成23年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	7.64	11.43		

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第38期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から、一部で復興需要を背景とした景気回復が見られるものの、景気全体の底上げにはいたっておりません。欧州債務危機に端を発した経済危機は、長期化する円高や株価の低迷に深く影響しております。国内では、依然として電力供給への不安、消費税増税などの新たな負担増などにより、経済動向の先行き不透明な状況が続いております。

そうした中、当社グループにおける第2四半期連結累計期間は、昨年の震災による復旧修理特需現象から平常へと戻ったため、前期と比較し、売上、利益面などに反動減が見受けられましたが、利益面では、当初の業績予想を上回る状況で推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間における、売上高は156億27百万円(前年同四半期比2.7%減)、営業利益は7億71百万円(前年同四半期比16.1%減)、経常利益5億64百万円(前年同四半期比26.1%減)、特別損失に固定資産除却損9百万円及び投資有価証券評価損3百万円を計上し、その結果、四半期純利益は3億28百万円(前年同四半期比0.0%増)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### 〔ホームセンター事業〕

ホームセンター事業につきましては、商圈地域内において、震災に関わる需要が落ち着いたことにより、前期と比較して売上、利益面に反動減が生じております。春先の低温とは逆に、夏場は猛暑となるなど、天候の影響を受ける中、前年と比較して植物・園芸関連商品が売上を底上げし、すだれなどの夏物商品も順調に売上を伸ばしました。加えて前年同様、木材・塗料・金物工具などの住宅関連商品の売上も堅調であり、業績は、計画通りに推移しております。

これらの結果、営業収益は99億24百万円(前年同四半期比4.4%減)、セグメント利益は4億72百万円(前年同四半期比15.0%減)となりました。

〔WILD - 1 事業〕

WILD - 1 事業においては、春先からの低温の影響で、春物商品の出足が遅れましたが、ファミリー層を中心にキャンプ用品が昨年に引き続き好調を維持し、夏場のレジャーに向けた新規のお客様を取り込むなど順調に推移いたしました。業績は、売上、利益ともに計画を上回って推移しております。

これらの結果、営業収益は32億95百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント利益は3億32百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。

〔専門店事業〕

専門店事業につきましては、業務スーパー店舗において、昨年来からの客数増加傾向や、新規のお客様の固定化策などにより、好調を堅持しております。平成24年6月に12店舗目となる業務スーパー西那須野店（栃木県那須塩原市）を出店いたしました。開店後、順調に推移しております。オフハウス店舗においては、猛暑により、メンズ・レディーススウエアなどの夏物衣料が好調に推移し、売上を牽引するとともに、店舗ごとに販売促進活動を積極的に推進し、ブランドバッグ・家電品・家具などを中心とした販売が好調でありました。

これらの結果、営業収益は26億円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は1億30百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、計画通りに安定した利益を上げております。

店舗開発事業における営業収益は4億5百万円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント利益は90百万円（前年同四半期比12.2%増）となっております。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、261億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円の減少となりました。主な要因としては、借入金の返済等による現金及び預金の減少3億8百万円及び減価償却や敷金及び保証金の返還による固定資産の減少72百万円の減少要因に対し、クレジット売上増に伴う売掛金の増加81百万円及び秋物商材の仕入による商品の増加1億5百万円の増加要因によるものであります。

負債は、212億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億89百万円の減少となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の増加5億37百万円の増加要因に対し、短期借入金の減少6億88百万円、長期借入金の減少3億13百万円、長期預り敷金保証金の減少30百万円及び確定拠出年金分割移換金の拠出等によるその他固定負債の減少79百万円の減少要因によるものであります。

純資産は、49億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億86百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払37百万円の減少要因に対し、当第2四半期連結累計期間において四半期純利益3億28百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は18.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円減少し、8億93百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ2億34百万円減少し8億74百万円となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益5億56百万円、減価償却費2億6百万円、仕入債務の増加額5億37百万円及び固定資産除却損9百万円の増加要因に対し、たな卸資産の増加額1億5百万円、売上債権の増加額81百万円及び法人税等の支払額2億6百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1億12百万円(前年同四半期は17百万円の収入)となりました。主な要因としては、敷金及び保証金の回収による収入1億30百万円の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出1億59百万円、敷金及び保証金の差入による支出48百万円及び預り保証金の返還による支出17百万円の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ8億42百万円増加し10億71百万円となりました。主な要因としては、長期借入れによる収入9億70百万円の増加要因に対し、短期借入金の純減少額7億46百万円及び長期借入金の返済による支出12億25百万円の減少要因によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	51,000,000
計	51,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	16,100,000	16,100,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	16,100,000	16,100,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年8月31日		16,100,000		1,926,000		1,864,000

(6) 【大株主の状況】

平成24年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
服部商会株式会社	栃木県宇都宮市滝の原3丁目1番9号	4,359	27.08
服部京子	栃木県宇都宮市	2,915	18.11
千葉ゆきえ	千葉県白井市	918	5.71
服部正吉	栃木県宇都宮市	564	3.51
服部良江	栃木県宇都宮市	518	3.22
カンセキ社員持株会	栃木県宇都宮市西川田本町3丁目1番1号	473	2.94
株式会社カーマ	愛知県刈谷市日高町3丁目411番地	286	1.78
カンセキ取引先持株会	栃木県宇都宮市西川田本町3丁目1番1号	286	1.78
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号	244	1.52
株式会社栃木銀行	栃木県宇都宮市西2丁目1番18号	231	1.43
計		10,796	67.06

(注) 上記のほか当社所有の自己株式 1,295千株(8.05%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,295,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,801,000	14,801	
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	16,100,000		
総株主の議決権		14,801	

(注) 単元未満株式には、当社名義の自己株式800株が含まれております。



【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社カンセキ	栃木県宇都宮市西川田本町 3丁目1番1号	1,295,000		1,295,000	8.04
計		1,295,000		1,295,000	8.04

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,263,843	955,785
売掛金	131,280	212,286
商品	4,566,621	4,672,053
その他	643,417	635,235
貸倒引当金	2,374	3,272
流動資産合計	6,602,788	6,472,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,017,955	3,940,226
土地	11,696,299	11,760,068
その他(純額)	180,639	199,702
有形固定資産合計	15,894,894	15,899,997
無形固定資産		
投資その他の資産	681,409	665,903
敷金及び保証金	2,566,091	2,495,545
その他	593,601	602,086
貸倒引当金	133	95
投資その他の資産合計	3,159,558	3,097,536
固定資産合計	19,735,863	19,663,437
資産合計	26,338,652	26,135,526
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,135,299	3,672,913
短期借入金	7,059,734	6,371,209
未払法人税等	224,434	243,323
ポイント引当金	159,279	164,790
その他	649,632	685,478
流動負債合計	11,228,380	11,137,713
固定負債		
長期借入金	8,569,514	8,255,785
退職給付引当金	640,485	664,354
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	82,117	82,857
長期預り敷金保証金	574,179	543,871
その他	573,172	493,637
固定負債合計	10,467,807	10,068,846
負債合計	21,696,187	21,206,560

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,039,700	1,331,112
自己株式	232,317	232,317
株主資本合計	4,597,382	4,888,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,081	40,171
その他の包括利益累計額合計	45,081	40,171
純資産合計	4,642,464	4,928,966
負債純資産合計	26,338,652	26,135,526

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	16,062,184	15,627,463
売上原価	11,441,881	11,107,900
売上総利益	4,620,303	4,519,562
営業収入	617,454	610,993
営業総利益	5,237,757	5,130,555
販売費及び一般管理費	4,318,424	4,359,385
営業利益	919,333	771,169
営業外収益		
受取利息	764	340
受取配当金	3,059	4,153
受取保険金	10,339	17,541
その他	7,683	4,764
営業外収益合計	21,846	26,800
営業外費用		
支払利息	176,618	182,862
支払手数料	-	50,000
その他	832	928
営業外費用合計	177,450	233,790
経常利益	763,729	564,179
特別利益		
固定資産売却益	111,811	-
賃貸借契約解約益	60	4,965
特別利益合計	111,871	4,965
特別損失		
固定資産除売却損	118,371	9,152
賃貸借契約解約損	88	-
投資有価証券評価損	-	3,508
災害による損失	125,905	-
退職給付制度改定損	50,159	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,696	-
その他	7,190	-
特別損失合計	339,411	12,661
税金等調整前四半期純利益	536,189	556,483
法人税、住民税及び事業税	286,920	225,562
法人税等調整額	79,099	2,497
法人税等合計	207,820	228,060
少数株主損益調整前四半期純利益	328,369	328,422
四半期純利益	328,369	328,422

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	328,369	328,422
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,335	4,910
その他の包括利益合計	2,335	4,910
四半期包括利益	326,034	323,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,034	323,512

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	536,189	556,483
減価償却費	211,396	206,989
支払利息	176,618	182,862
固定資産売却損益(は益)	105,248	-
固定資産除却損	111,808	9,152
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,696	-
たな卸資産の増減額(は増加)	245,100	105,237
売上債権の増減額(は増加)	42,424	81,005
仕入債務の増減額(は減少)	692,298	537,613
その他	93,508	51,344
小計	1,466,742	1,255,513
利息及び配当金の受取額	3,823	4,495
利息の支払額	176,786	178,952
法人税等の支払額	183,896	206,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,109,883	874,904
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	90,000	-
有形固定資産の取得による支出	106,365	159,897
有形固定資産の売却による収入	357,099	-
無形固定資産の取得による支出	2,390	6,686
敷金及び保証金の差入による支出	32,259	48,010
敷金及び保証金の回収による収入	199,510	130,095
預り保証金の返還による支出	296,017	17,693
預り保証金の受入による収入	1,120	-
その他	12,794	10,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,902	112,389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	794,000	746,500
長期借入れによる収入	1,650,000	970,000
長期借入金の返済による支出	1,035,818	1,225,754
社債の償還による支出	25,000	-
その他	24,419	69,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,237	1,071,646
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	898,548	309,131
現金及び現金同等物の期首残高	984,770	1,202,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,883,319	893,762

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 この変更による損益に与える影響は軽微であります。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
給料及び手当	1,520,732千円	1,528,225千円
退職給付費用	153,067 "	146,845 "
地代家賃	992,158 "	957,158 "
ポイント引当金繰入額	18,372 "	5,511 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)
現金及び預金	2,035,829千円	955,785千円
流動資産その他(金銭の信託)	"	488 "
預入期間が3か月を超える定期預金	152,510 "	62,510 "
現金及び現金同等物	1,883,319千円	893,762千円



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月24日 定時株主総会	普通株式	37,010	2.50	平成24年2月29日	平成24年5月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD - 1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	10,379,842	3,341,583	2,506,952	437,324	16,665,702	13,936	16,679,639		16,679,639
セグメント間の内部 営業収益又は振替高				6,534	6,534	36,965	43,499	43,499	
計	10,379,842	3,341,583	2,506,952	443,858	16,672,236	50,901	16,723,138	43,499	16,679,639
セグメント利益	555,678	379,541	155,709	80,961	1,171,891	13,390	1,185,281	265,948	919,333

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 265,948千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 265,948千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD - 1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	9,924,699	3,295,020	2,600,672	405,685	16,226,076	12,379	16,238,456		16,238,456
セグメント間の内部 営業収益又は振替高				6,534	6,534	32,700	39,234	39,234	
計	9,924,699	3,295,020	2,600,672	412,219	16,232,610	45,079	16,277,690	39,234	16,238,456
セグメント利益	472,220	332,018	130,099	90,829	1,025,168	6,261	1,031,430	260,260	771,169

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額 260,260千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 260,260千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	22円18銭	22円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	328,369	328,422
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	328,369	328,422
普通株式の期中平均株式数(株)	14,804,200	14,804,200

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月15日

株式会社カンセキ  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 真一郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鳥羽 正浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社カンセキの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年6月1日から平成24年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社カンセキ及び連結子会社の平成24年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。